

かごしま 市議会だより

2018 No.342

平成30年 8月1日
編集・発行 / 鹿児島市議会
☎099-224-1111(市役所代表) ☎099-216-1454(政務調査課直通)
<鹿児島市議会ホームページアドレス>
http://www.city.kagoshima.lg.jp/gikai/index.html



魚類市場 新市場棟(1工区)完成!

～ 鹿児島の水産物の販路拡大と市場の活性化に期待 ～

第1回臨時会

第2回定例会

議長に山口たけし氏
副議長に森山きよみ氏を選出
平成30年度一般会計補正予算可決
— 待機児童解消を目指し保育施設を整備 —

～目次～

- 第1回臨時会および第2回定例会の概要、議決された主な議案の要旨 **1面**
- 個人質疑から **2～4面**
- 委員会から、可決された意見書の要旨、市議会あんな話・こんな話 **4面**
- 市議会からのお知らせ **4・5面**
- 議案等に対する各会派等の表決態度、委員会の構成 **6面**

〔第1回臨時会〕
第1回臨時会は、5月16日に開かれ、特別委員会の中間報告、正副議長の選出、常任委員会等の委員の選任等を行いました。
このほか、市税条例の一部を改正する条例などの専決処分3件を承認するとともに、監査委員の選任2件について同意しました。

〔第2回定例会〕
第2回定例会は、6月12日から28日までの17日間にわたって開かれました。

この定例会では、平成30年度一般会計および中央卸売市場特別会計の補正予算をはじめ、「こども医療費助成条例一部改正の件」や「都市公園を設置すべき区域の決定に関する件」、「公園条例一部改正の件」、「市営住宅条例一部改正の件」など、議案17件を議決しました。

このほか、「地方消費者行政に対する財政支援の継続・拡充を求める意見書」、「教育予算の拡充を求める意見書」の2件を可決しました。

平成30年7月豪雨による被害へのお見舞い
このたびの平成30年7月豪雨(西日本豪雨)により、全国各地で甚大な被害が発生し、本市でも尊い命が失われました。犠牲になられた方々のご冥福を心からお祈り申し上げます。
また、被災された皆様には、心からお見舞いを申し上げます。また、一日も早い復旧と住民の皆様の生活の安定をお祈り申し上げます。

議決された主な議案の要旨

- 〔第1回臨時会〕**
- ▼監査委員の選任について同意を求める件(2件)
・小森のぶたか氏
・古江尚子氏
- 〔第2回定例会〕**
- ▼鹿児島市こども医療費助成条例一部改正の件
・市町村民税非課税世帯の未就学児の医療費について、医療機関等での窓口負担をなくすとともに、関係条例の整備をするもの
 - ▼都市公園を設置すべき区域の決定に関する件
・今後市立病院跡地に整備する都市公園において、公園管理者以外の者が公園施設を設置するに当たり、都市公園を設置すべき区域を決定するもの
 - ▼鹿児島市公園条例一部改正の件
・都市公園法の一部改正に伴い、都市公園に設ける公募対象公園施設である建築物の敷地面積に関する制限の率および同施設の使用許可等に係る使用料を定めるもの
 - ▼鹿児島市市営住宅条例一部改正の件
・住宅等および共同施設の管理を指定管理者に行わせるため、条文の整備をするもの
 - ▼鹿児島市市税条例等一部改正の件
・地方税法の一部改正に伴い、個人市民税の基礎控除等および市たばこ税の税率の見直し等をするもの
 - ▼平成30年度鹿児島市一般会計補正予算(第1号)
◎主な内容
・児童クラブ施設整備事業(児童クラブ8施設の整備)
・児童福祉施設整備費等補助金(保育所等8施設の整備)
・平成30年度鹿児島市中央卸売市場特別会計補正予算(第1号)
・魚類市場輸出拠点構築推進事業
 - ▼教育委員会委員の任命について同意を求める件
・桃木野 聡氏
 - ▼公平委員会委員の選任について同意を求める件
・石田則行氏

個人質疑から

第1回臨時会では1人、第2回定例会では19人の議員が個人質疑を行いました。その中から一部を紹介します。質疑者は下記のとおりです。

- | | | |
|---------------------|----------------------|--------------------|
| たてやま清隆 議員(日本共産党) | 大園たつや 議員(日本共産党) | 杉尾ひろき 議員(自由民主党新政会) |
| 小森こうぶん 議員(自由民主党新政会) | 上田ゆういち 議員(公明党) | 徳利こうじ 議員(自民みらい) |
| 大園盛仁 議員(黎明の会) | 堀純則 議員(自由民主党) | 大森忍 議員(社民・市民フォーラム) |
| 崎元ひろのり 議員(公明党) | 園山えり 議員(日本共産党) | 井上剛 議員(自民みらい) |
| 小川みさ子 議員(無所属) | 柿元一雄 議員(自由民主党維新の会) | わきた高徳 議員(自由民主党新政会) |
| のぐち英一郎 議員(無所属) | 平山たかし 議員(無所属) | |
| 片平孝市 議員(民主・無所属の会) | 中原ちから 議員(社民・市民フォーラム) | |

(質疑順ではありません。)

第1回臨時会

国民健康保険税条例の一部改正

問 同条例の改正内容と市民への影響は。

答 平成30年3月の地方税法施行令の一部改正を受け、基礎課税額の課税限度額を4万円引き上げるとともに、5割軽減および2割軽減の対象となる世帯に係る軽減判定所得の基準を引き上げるものである。

影響としては、課税限度額の引き上げでは約1150世帯が対象となり、1世帯当たり約3万7千円の負担増を見込んでいます。

また、軽減判定所得基準の引き上げでは、新たに5割軽減の対象となる世帯数は約180世帯で、1世帯当たり約3万9千円、新たに2割軽減の対象となる世帯数は約300世帯で、1世帯当たり約1万6千円の負担軽減を見込んでいます。

第2回定例会

中央駅西口地区一帯の土地利用

問 中央駅西口地区一帯の土地利用について、市長のリーダーシップのもと活用を進めてもらいたい、見解は。

答 先般、新たな総合体育館に関する県の考え方が示されたが、JR九州の開発計画と合わせ、同地区一帯の開発が大きく前進するものと期待している。

同地区の開発は、本市のまちづくりの重要な取り組みの一つであり、陸の玄関口としてふさわしい新たな魅力の創出や都市機能の充

市たばこ税の税率見直し

実が図られるよう、今後、県、JR九州、日本郵便および本市による四者連絡会において具体的な協議を進めていきたいと考えている。

問 市たばこ税の税率見直し

答 市たばこ税に係る改正の主な内容は、一般の紙巻たばこの税率を平成30年、32年、33年の各年10月に3段階で引き上げるとともに、旧3級品の紙巻たばこについては、31年4月に予定していた税率の引き上げを31年10月に延期するものである。

また、喫煙用の製造たばこの区分として、新たに加熱式たばこの区分を創設するとともに、紙巻たばこと同じである現行の課税方式を30年10月から見直すものである。市たばこ税の28年度決算額は約40億3049万円で、市税に占める割合は4・6割、今回の改正による増収見込みは、地方財政計画をもとに試算すると、30年度で約7700万円、平年度ベースで約4億3千万円となる。

魚類市場輸出拠点構築推進事業

び松元地区では待機児童が生じている。保育所等の施設整備については、30年度は11施設520人の定員増を図ることとしており、そのうち今回の補正予算においては8施設404人の定員増を図る施設整備に対する補助金を計上したところであり、待機児童の解消に一定の効果があるものと考えている。

今後とも、保育所等の整備による定員増や潜在保育士の掘り起こしなどにより、早期の待機児童解消に向け引き続き取り組んでいきたいと考えている。

問 魚類市場輸出拠点構築推進事業の概要と期待する効果は。

答 同事業は、現在進めている再整備により輸出に対応できる市場施設となることから取り組むこととしたものである。卸売業者や仲卸業者などの市場関係者や学識経験者、開発者などで構成する魚類市場輸出促進協議会を設置し、輸出ターゲット国における水産物・水産加工品の輸入動向等の調査やテストマーケティングの実施などを行い、本市場における輸出拠点構築に向けた基本方針や基本戦略などを検討した上で、平成31年3月に「魚類市場輸出拠点構築推進



元気に体操する保育園児

公共施設の長寿命化

計画」を策定するものである。この取り組みにより、鹿児島の水産物の販路拡大が図られ、生産者や市場関係者の経営安定に資するとともに市場の活性化につながることを期待している。

問 公共施設等総合管理計画の個別計画である「鹿児島市公営住宅等長寿命化計画」の平成29年度の見直しの内容と、「鹿児島市学校施設長寿命化計画」の策定状況など、どのような姿勢で財政運営に臨むのか。

答 公営住宅等長寿命化計画の見直しでは、新規建設を行わないとする基本的方向の設定や40年後を見据えた削減予定の住宅を選定した。削減予定面積は、今後40年間に建て替えを迎える住棟の延べ床面積およそ40万平方メートルに対し、約19割の7万6千平方メートルである。

学校施設長寿命化計画については、30年度に実態把握を行い、31年度に中長期的な年次計画を策定することとしている。厳しい財政状況のもと増大する公共施設等の維持・更新に要する費用の負担は大きな課題であると認識しており、今後も施設等の更新・長寿命化等を総合的・長期的に推進し、可能な限りの収入の確保と経費支出の効率化に取り組むことで、持続可能な財政運営に努めていきたい。

指定管理者導入施設の職員研修等の実施状況

研修会等の実施状況は。また、課題と今後の取り組みは。

答 指定管理者導入施設に勤務する職員数は、平成30年3月末現在、正規職員が283人、臨時職員などの非正規職員が872人となっている。

また、職員研修は業務指針で実施を求めているが、これに基づき各指定管理者は専門的な研修や接遇研修等を実施している。同制度において、住民サービスの向上は大きな目的の一つであり、職員研修をはじめとする各種取り組みを継続することが必要であると考えている。本市としても、モニタリング等により状況を把握し、必要に応じて適切な指導等を行っていききたい。

桜島港周辺環境の諸課題

問 桜島港のバス停移設に係る経過と桜島港の今後の主な整備内容は。

答 桜島港のバス停については、新ターミナル供用開始後も約2年間、旧ターミナルの解体工事等が行われることを踏まえ、フェリー改札口のある3階出口に最も近い場所に整備したが、利用者から「行き先と反対の方向に歩かなければならない」、「臨時とはいえない」などの意見があったことを受け、旧ターミナル隣の仮設交通広場内へ暫定的にバス停を設置し、平成30年6月1日から利用を開始した。

桜島港の今後の主な整備内容としては、30年度は第2・3バースの工事に、31年度にはバス・タクシーや送迎用車両の乗降場となる交通広場の整備に着手し、いずれも32年3月末の完成を予定している。

問 鹿児島ふれあいスポーツランドなどの公共施設の多くが指定管理者により運営されているが、導入施設の職員数と職員に対する

移住促進の取り組み

問 本市へ移住された方々の移住地域や件数、特色、主な意見は、また、受け入れ態勢の現状は。

答 本市関連施策を通じた平成29年度の移住者数は18人で、その移住地域は中央・伊敷・谷山などとなっている。特色としては、関東・関西からの移住者が7割を超えており、桜島や錦江湾の雄大な景色に魅力を感じたことなどがその契機になったと聞いている。

移住希望者に対する相談・受け入れ態勢を充実するため、30年4月から移住推進室を設け、移住支援コーディネーターを相談室に配置し、希望者のニーズに合わせたきめ細かい情報提供や相談対応等の支援、移住相談会における本市の魅力の情報発信に努めているところである。



移住相談会の様子

金属類の分別収集とごみ出しルールの徹底

問 金属類の分別収集の周知広報の取組状況と課題は。また、ごみ出しルールの徹底について今後の考え方は。

答 平成30年1月からの金属類の収集開始を前に、町内会単位で

の住民説明会を約600回実施したほか、市政広報番組でのPRやごみ出しカレンダーに特集ページを設けるなどして周知を図ってきたが、若年層の単身世帯など、ごみ分別への関心が低い層への周知の徹底を図ることが課題とされている。

今後の取り組みとしては、30年度に分別方法を詳しく説明したごみ出しガイドブックを新たに発行し、全戸配布を行うこととしている。これにより、市民に分別への理解を深めてもらい、その徹底が図られるよう努めていく。

認知症初期集中支援推進事業

問 認知症初期集中支援推進事業の目的、概要およびこれまでの成果は。また、平成30年度の取り組みは。

答 同事業は、認知症になって

もできる限り住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、早期診断・対応に向けた支援を行うことを目的に、長寿あんしん相談センターに配置した支援チームが、専門医と連携しながら認知症の人やその家族等を訪問し、医療サービスや介護サービス等の利用につなげており、在宅生活の継続に効果があったものと考えている。

また、30年度は、支援チームをこれまでの2チームから、市内17カ所の長寿あんしん相談センターにそれぞれ1チームずつの計17チームとし、支援体制を強化したところである。

県が事前配布する安定ヨウ素剤への本市の対応

問 県が対象者に事前配布することとしている安定ヨウ素剤の県全体の配布希望者数と本市の申込

者数は。また管理や服用の際の不安などへの本市の対応は。

答 県によると、県全体の申請状況は1172世帯、2269人うち本市の申込者数はUPZ圏内の35世帯69人を含む43世帯83人となっている。

本市においては、県と共催で配布説明会を実施することとしており、その際、服用のタイミングについては国または県や市が広報を通じて指示することや保管方法などの注意事項、副作用などの服用上の留意点について説明するとともに、不安などに対する相談にも応じていきたい。

解説 UPZ圏内

国の原子力災害対策指針で、原子力発電所で事故が発生し緊急事態となった場合に、屋内退避などの防護措置を行うことが定められている原子力発電所からおおむね5〜30キロ圏内の区域

ヘルプカード・ヘルプマーク

問 平成30年6月の県議会における「ヘルプカード」導入についての答弁に対する見解は。また、ヘルプカードやヘルプマークの導入により、対象者の日常生活等や本市の交通事業において期待されることは。

答 県知事が同カードの導入を表明したことは、これまで県内市町の福祉事務所長会議を通じて県に要望してきたこともあり、重要性を認識してもらったものと考えている。

また、同カード等の導入により、外見からは援助や配慮を必要としていることが分かりにくい方々が、援助を得やすくなる効果が考えられるほか、市電、市バスを利用する場合には、気軽に優先席に座つ

てもらえるなど、さらに安心して利用できる環境が整うものと考えている。



公共のドッグラン施設の設置

問 市民による仮設ドッグランの取り組み状況は。また、ドッグラン施設の効果の認識と、公共のドッグラン施設の検討課題は。

答 主催者によると、これまで3回、市内の公園において仮設ドッグランを開催し、狂犬病などの予防接種を義務付け、同意書を提出した者に限って利用させているとのことである。

ドッグラン施設は、犬同士のコミュニケーション能力の向上や犬の運動不足解消が期待できるほか、適正飼養に関する意識の向上を図ることができると考えている。なお、公共の同施設の設置については、一定のニーズがあると受け止めているが、特定の市民の利用に供する施設であることなどから慎重に検討すべきと考えている。

精神障害者雇用に関する支援と改善の取り組み

問 精神障害者の雇用者数が少ない要因と、本市の支援および改善への取り組みは。

答 精神障害者の雇用者数が少ない要因としては、精神障害者は、一般的に症状や生活リズムなどにより体調コントロールが安定しに

く就職に結びつきにくい状況にあること、また、事業所においては、障害の状況と仕事に対する適性についての認識や働きやすい環境の整備が十分でないことなどが考えられる。

本市としては、就労相談や働き方講座の実施、雇用した事業主に對する助成金の支給のほか国の助成金やジョブコーチによる支援など、各種制度について周知・啓発を図っている。

今後とも、関係部局や鹿児島労働局などとの連携を密にして、精神障害者の雇用促進に向けた取り組みを進めたい。

かごしま国体および観光客の増加に対する受け入れ態勢の確保

問 大型クルーズ船が入港した際、ツアーバスによる混雑がみられるが、かごしま国体および全国障害者スポーツ大会開催時における輸送手段の確保等の対応状況は。また、大型バスの駐車場確保についての今後の方向性は。

答 同大会開催時の対応については、平成28年度に国・県や交通事業者等で構成する輸送交通専門委員会を設置し、輸送手段の確保など、大会に支障がないよう検討を進めているところである。

大型バス乗降場については、新たに中央公園横に整備されることになったが、駐車場については、県をはじめ関係機関と引き続き協議を行っていきたくと考えている。

谷山駅前広場整備の概要と今後のスケジュール

問 平成30年度に予定されている谷山駅前広場整備の概要と今後のスケジュールは。

答 谷山駅前広場については、

車両スペースとして、路線バスは乗降場4台分、待機場1台分を、タクシーは乗降場1台分、降車場1台分、待機場6台分を、一般車は乗降場5台分、駐車場10台分、身体障害者用の乗降場1台分、駐車場1台分をそれぞれ設ける。

また、新駅舎と調和のとれた歩道上屋、照明および植栽などを設置することとしており、30年8月上旬から順次、土木、建築、設備、植栽工事に着手し、早期完成に向けて取り組んでいく。

マンホール蓋を都市景観向上と新たな観光振興につなげる方策

問 本市のマンホール蓋の設置経過および本市水道局らしいデザインの検討は。また、特色あるカラーマンホールを新設し、都市景観の向上や観光振興につなげる予定は。

答 本市のマンホールは、昭和40年度以前は鉄筋コンクリート製その後は鋳鉄製の蓋を採用しており、そのデザインは複数回の変更を経て57年度から現在の亀甲模様となっている。新しいマンホール蓋については、費用の面も考慮した上で鹿児島らしい薩摩切子の文様をモチーフとしたデザインを平成30年度から導入することとしている。

都市景観などに寄与するカラーデザインマンホール蓋については、引き続き関係部局と協議しながら検討を進めていく。



薩摩切子の文様をモチーフとしたデザイン(試作品)

開設から22年目に入った 都市農業センター

問 これまでの都市農業センターでの試験研究や大学との連携による実証栽培などの取組内容と農作物の生産状況および県内外への販路拡大の取組みは。

答 同センターでは都市型農業の主力品目であるホウレンソウ、コマツナ、ミズナなどの軟弱野菜に加え、地域特産物の白ネギやスイートコーンなどの有望品種の選定のほか、鹿児島大学と連携し桜島大根の優良系統への改良や山ホウレンソウの機能性成分の分析等に取り組んできたところであり、実証された軟弱野菜などは市内の農家に広く普及し生産されている。また、県内外へのPR活動については、県や青果市場、JAなどに協力して取り組んでいるほか、平成30年度から同センターで開催している土曜マルシェにおいて、実証した新たな品目などをPR販売している。



農産物の販売でにぎわう土曜マルシェ

重すぎる通学カバンの 軽量化への取り組み

問 この10年で主要教科テキストのページ数は35%増加、テキストのサイズはB5からA4に拡大などの現状を踏まえた通学カバン

の軽量化への取組状況と今後の課題認識は。

答 教育委員会では、平成29年6月以降、通学カバン等に関する負担軽減について、各学校へ文書等で指導を行うとともに全学校で抽出調査を行った。その結果、平均重量は、小学校6・8キログラム、中学校11・3キログラムであった。

各学校では、児童生徒や保護者からの相談に個別に対応するとともに、指定した一部の教科書や教具等について学校に置いて帰ることを認めるなど取り組んでおり、今後とも、児童生徒一人一人の体格・体力や通学状況等に配慮した細やかな対応等が必要であると考



登校中の中学生

委員会から

市営住宅等への指定管理者 制度の導入

問 市営住宅等の管理を指定管理者に行わせるため、今回、市営住宅条例の一部改正を行うが、指定管理者はどのような業務を行うことになるのか。また、九州県都市における市営住宅等に係る指定管理者制度の導入状況は。

答 指定管理者が行う業務として、市営住宅等の公募、入居および退去ならびに家賃等の徴収や連帯保証人の変更に係る承認申請、その

他承認申請等の手続き、さらには施設の環境整備および維持修繕に関する業務などを規定している。また、九州県都市においては、平成17年度の大分市以降、順次導入が進み、29年度までに本市を除く全ての都市が導入済みである。**問** 九州県都市の中では、本市が最後に同制度を導入することになることから、先行都市のノウハウや教訓等を今後の募集要項の作成や指定管理者の選定に生かすべきでは。

答 今後、先行都市におけるメリット・デメリット等を十分に把握し、それらを今回の導入に生かす中で、入居者サービスのより一層の向上や効率的な管理運営につながるよう努めていきたい。

可決された意見書の要旨

第2回定例会では2件の意見書案を原案どおり可決しました。要旨は次のとおりです。

●地方消費者行政に対する財政支援の継続・拡充を求める意見書

国においては、地方自治体における消費者行政の充実・強化を図るため、地方自治体が行う事業に支障が生じないよう地方消費者行政に係る交付金を確保するとともに、消費者行政に係る地方自治体の取り組みについて、恒久的な財政支援を行うことを強く要請するため、国会および関係行政庁に対し意見書を提出します。

提出先：衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、内閣官房長官、消費者及び食品安全担当大臣、文部科学大臣、総務大臣

●教育予算の拡充を求める意見書

国においては、平成31年度の予算編成において、子供たちの教育環境改善のために、計画的な教職員定数改善を推進するとともに、教育の機会均等と水準の維持向上を図るため、義務教育費国庫負担制度の負担割合を堅持することを強く要請するため、国会および関係行政庁に対し意見書を提出します。

提出先：衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、内閣官房長官、財務大臣、文部科学大臣、総務大臣

市議会 あんな話・こんな話

第26話

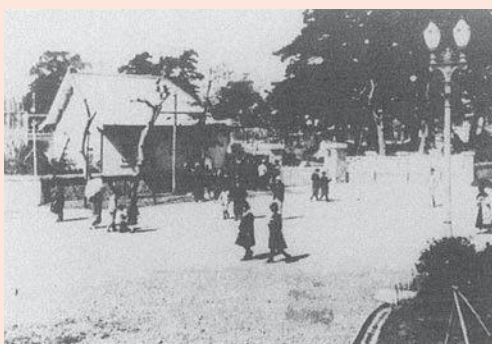
鴨池遊園地の買収

大正元年に電車を走らせ始めた鹿児島電気軌道株式会社が、乗客獲得対策として島津家ゆかりの会社から鴨池の広大な土地を借り受け、ここに動物園を誘致、野球場や運動場を造って盛んに野球の試合や市民運動会を主催していました。

この鴨池遊園地を市で買収することを思いついたのは白男川市長でした。電気軌道を買収して市で電車を走らせることを計画したときには、全体構想の中に鴨池遊園地買収計画が含まれていたと伝えられています。昭和3年7月、同社に「鴨池遊園地を市で買収したい」と申し入れました。しかし、金額的に折り合わず、話は物別れで一時凍結状態となり、白男川市長は3年11月に退職しました。

その後、4年6月に榊山新市長が誕生すると、市会（市議会）議員との間で買収問題が再燃し、鹿児島市会側は電車委員たちが現地視察をして妥当な買収価格等について結論を出しました。

そして、4年10月16日の市会は「鴨池遊園地買収の件」について協議を重ね、鴨池遊園地約4万9千坪を同社から32万円で買収することを満場一致で議決しました。やがて太平洋戦争の進展に伴い、18年4月、鴨池遊園地の陸上競技場と野球場は海軍航空隊の練兵場になり、動物園のトラやライオンなどは「空襲のとき逃げ出されては危険だ」との理由で、18年10月に殺処分されました。



昭和初めごろの鴨池動物園

政務活動費収支報告書等のインターネット公開

平成28年5月分からの政務活動費収支報告書と収支内訳書、領収書等の写しを、インターネットで公開しています。政務活動費の交付を受けた会派ごとに、平成30年3月分までの文書をご覧ください。



詳しくは市議会ホームページをご覧ください▶

政務活動費とは

地方自治法及び鹿児島市議会政務活動費の交付に関する条例に基づき、鹿児島市議会議員の調査研究その他の活動に資するため必要な経費の一部として交付されるものです。

【交付対象】

市議会における会派（所属議員が1人の場合を含みます。）

【交付額及び交付の方法】

次の合算額を、4月から9月まで及び10月から翌年3月までの各区分による期間ごとに交付します。

- ・各月の1日における当該会派の所属議員数に月額150,000円を乗じて得た額
- ・各月の1日において現に会派が雇用している事務補助員に係る当該月分の雇用に要する経費として月額270,000円以内で市長が別に定める基準により算定した額

市議会図書室でも政務活動費収支報告書等を閲覧できます

平成25年度分からの収支報告書等の写しは、市議会図書室で閲覧できます。閲覧を希望される方は、市議会事務局総務課（本庁舎西別館3階）までお越しください。

閲覧場所：市議会図書室（本庁舎西別館4階）

閲覧時間：午前8時30分～午後5時15分（閉庁日を除きます。）

市議会事務局総務課

☎ 099-216-1450(直通)

本会議の傍聴にお越しく下さい

親子席や車いすスペースを設置しています！

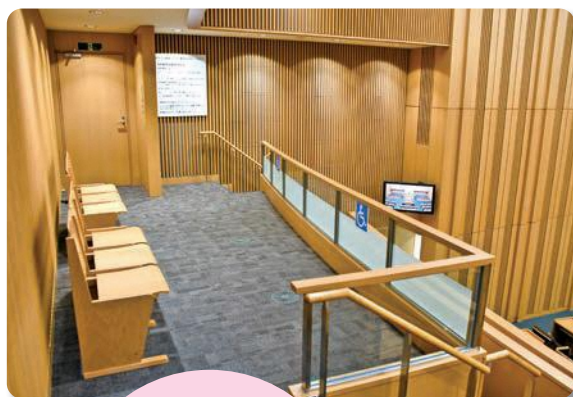
傍聴を希望される方は、西別館4階の本会議傍聴受付までお越しください。

傍聴受付で、傍聴人受付名簿に住所、氏名等をご記入いただいた後、係員が傍聴席へご案内いたします。なお、傍聴の際は、お守りいただく事項もございますのでご了承ください。

- ・ 耳の不自由な方のために議場のマイクの音を聞き取りやすくするワイヤレス補聴器を用意しております。
- ・ 手話通訳や要約筆記を希望される方は、傍聴希望日の5日前までにご連絡ください。手話通訳および要約筆記に要する費用の本人負担はありません。
- ・ 身体障害者の方は補助犬(盲導犬、介助犬、聴導犬)と同伴で傍聴できます。

親子席

防音機能を備えたガラス張りの部屋になっていますので、子ども連れの方も安心して傍聴できます。



車いすスペース

車いすを使用している方も気軽に傍聴できます。



ワイヤレス補聴器

音声が聞こえにくい方に貸し出します。



市議会事務局総務課

☎ 099-216-1450(直通)

請願と陳情

市政に対する市民の要望や希望を直接反映させるための方法として、だれでも請願書や陳情書を議会に提出することができます。本市議会では本市の議員の紹介がある場合を「請願」、議員の紹介がないものを「陳情」として取り扱っています。

請願の場合は、すべて委員会に付託し、会期中(定例会の期間中)または閉会中(会期外の期間中)に審査します。

陳情の場合は、委員会に付託するものと全議員に参考送付するもの(陳情内容が国等へ意見書提出を求めるものや委員会付託になじまないと判断されるものなど)がありますが、付託されますと、原則として閉会中の委員会において審査します。

会議録の閲覧・貸し出し

会議録は、下記の公共施設で閲覧や借りることができます。

【閲覧・借りることができる施設】

市立図書館、県立図書館、地域公民館、勤労女性センター、勤労青少年ホーム、サンエールかごしま、市消費生活センター

【閲覧ができる施設】

市議会図書室、市政情報コーナー、市民相談センター、各支所、地域福祉館、高齢者福祉センター、知的障害者福祉センター、福祉コミュニティセンター、勤労者交流センター、校区公民館

【会議録検索システム】

市議会ホームページにある「会議録検索システム」で平成6年以降の会議録を開催年、ことば、発言者名などで検索・閲覧できます。

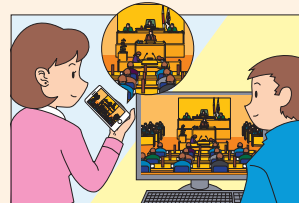
<アクセス方法>
市議会トップページ→「市議会会議録検索システム」



市議会事務局議事課 ☎ 099-216-1456(直通)

本会議の中継

- 1 本庁・各支所におけるモニター中継
会期中の本会議の様子は、本庁や各支所のロビーなどでご覧いただけます。
- 2 インターネットによる中継・録画放映
パソコンやスマートフォン、タブレット端末で本会議をリアルタイムで視聴できるほか、平成20年第2回定例会以降の本会議の様もご覧いただけます。



<アクセス方法>
市議会トップページ→「インターネット議会議中継録画」



市議会だより点字版・音声版の作成

目の不自由な方々に市議会の活動を知っていただくために、市議会だよりの点字版と音声版(テープ・CD)を作成しています。配布をご希望の方は、市議会事務局政務調査課までご連絡ください。

調査時報(2018年6月号)の発行

中核市の主要新規単独事業および新規開設施設等をまとめた「調査時報」を発行しました。市議会ホームページや下記の公共施設で閲覧することができます。

<アクセス方法>
市議会トップページ→「調査時報」



【閲覧ができる施設】

市議会図書室、市政情報コーナー、鹿児島中央駅市民プラザ、市民相談センター、市消費生活センター、各支所、地域福祉館、高齢者福祉センター、知的障害者福祉センター、吉田福祉センター、福祉コミュニティセンター、勤労者交流センター、市立図書館、県立図書館、地域公民館、勤労女性センター、勤労青少年ホーム、サンエールかごしま



市議会事務局政務調査課 ☎ 099-216-1454(直通)

議案等に対する各会派等の表決態度

○賛成 ×反対

議案名	各会派等の表決態度										結果	
	自由民主党新国会	公明党	社民市民フォーラム	自民みらい	民主・無所属の会	自由民主党維新の会	自由民主党	日本共産党	黎明の会	無所属A		無所属B
議案	【第1回臨時会（5月）】											
	▼専決処分の承認を求める件〔鹿児島市国民健康保険税条例の一部を改正する条例〕											承認
	▼専決処分の承認を求める件〔鹿児島市税条例の一部を改正する条例〕											承認
	▼専決処分の承認を求める件〔平成29年度鹿児島市病院事業特別会計補正予算（第2号）〕											承認
	▼監査委員の選任について同意を求める件〔2件〕											同意
	【第2回定例会（6月）】											
	▼鹿児島市営住宅条例一部改正の件											可決
	▼都市公園を設置すべき区域に関する件											
	▼鹿児島市公園条例一部改正の件											
	▼鹿児島市指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営の基準に関する条例及び鹿児島市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法の基準に関する条例一部改正の件											
▼鹿児島市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営の基準に関する条例一部改正の件												
▼鹿児島市介護保険条例一部改正の件												
▼鹿児島市放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例一部改正の件												
▼鹿児島市家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例一部改正の件												
▼鹿児島市子ども医療費助成条例一部改正の件												
▼鹿児島市税条例等一部改正の件												
▼自動車購入の件〔2件〕											承認	
▼平成30年度鹿児島市一般会計補正予算（第1号）												
▼平成30年度鹿児島市中央卸売市場特別会計補正予算（第1号）											承認	
▼専決処分の承認を求める件〔平成30年度鹿児島市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）〕												
▼教育委員会委員の任命について同意を求める件											同意	
▼公平委員会委員の選任について同意を求める件											同意	
意見書案	【第2回定例会（6月）】											
	▼地方消費者行政に対する財政支援の継続・拡充を求める意見書提出の件											可決
▼教育予算の拡充を求める意見書提出の件												
陳情	【第1回臨時会（5月）】											
	▼受動喫煙防止のための飲食店等の禁煙化促進について（3項）											不採択
	▼科学的特性マップの公表に伴うNUMOによる「核のごみの最終処分地」に関する鹿児島市内での説明会への対応について											
	▼原子力災害に備えて甲状腺被ばく低減のために、希望する市民に対して安定ヨウ素剤（丸剤・ゼリー剤）の事前配布を求めることについて〔2件〕											
▼子どもの養育支援を求めることについて												

会派名等	議員数	所属議員名	会派名等	議員数	所属議員名
自由民主党 新政会	13人	中元かつあき 霜出佳寿 佐藤高広 瀬戸山つよし	民主・無所属の会 自由民主党 維新の会	5人	米山たいすけ 伊地知紘徳 三反園輝男 ふじた太一
		杉尾ひろき わきた高德 奥山よしじろう 川越桂路			片平孝市
		山口たけし 仮屋秀一 小森こうぶん 上門秀彦			柿元一雄 志摩れい子 中島蔵人 幾村清徳
公明党	6人	しらが郁代 松尾まこと 上田ゆういち 長浜昌三	自由民主党	3人	堀 純則 古江尚子 入船攻一
		小森のぶたか 崎元ひろのり	日本共産党	3人	園山えり たてやま清隆 大園たつや
社民・市民 フォーラム	6人	平山タカヒサ 中原ちから 大森 忍 ふじくぼ博文	黎明の会	2人	大園盛仁 平山 哲
		森山きよみ 秋広正健	無所属A	1人	平山たかし
自民みらい	5人	徳利こうじ 藺田裕之 井上 剛 田中良一	無所属B	1人	小川みさ子
		うえだ勇作	無所属C	1人	のぐち英一郎

*平成30年5月17日に「民主・無所属の会」から「民主・無所属の会」へ会派の名称変更

委員会の構成

(平成30年5月16日現在)

委員会	定数	現員	委員 (◎委員長 ○副委員長)	所管事項	委員会	定数	現員	委員 (◎委員長 ○副委員長)	調査・審査事項
常任委員会	総務消防	10人	10人	◎中島 蔵人 仮屋 秀一 総務局、企画財政局、 ○奥山よしじろう 小川みさ子 会計管理室、消防局、 平山タカヒサ 小森こうぶん 選挙管理委員会、監 藺田裕之 片平孝市 査委員及び公平委員 松尾まこと 入船攻一 会の所管に属する事 項並びに他の委員会の 所管に属しない事 項	議会運営委員会	12人	12人	◎川越桂路 松尾まこと ○ふじくぼ博文 奥山よしじろう 米山たいすけ 崎元ひろのり 佐藤高広 大森 忍 藺田裕之 中島蔵人 大園たつや 入船攻一	1 議会の運営に関 する事項 2 議会の会議規則、 委員会に関する条 例等に関する事項 3 議長の諮問に関 する事項
				◎杉尾ひろき ふじくぼ博文 危機管理局、市民局 ○のぐち英一郎 井上 剛 及び健康福祉局の所 大園たつや 古江尚子 管に属する事項 小森のぶたか 柿元一雄 伊地知紘徳 長田徳太郎				特別委員会	12人
	◎しらが郁代 大森 忍 産業局、観光交流局、 ○徳利こうじ 山口たけし 農業委員会、市立病 中元かつあき 幾村清徳 院、交通局、水道局 瀬戸山つよし ふじた太一 及び船舶局の所管に 長浜昌三 平山たかし 属する事項	◎佐藤高広 ふじくぼ博文 ○上田ゆういち 柿元一雄 園山えり うえだ勇作 瀬戸山つよし 大園盛仁 松尾まこと ふじた太一 堀 純則 長田徳太郎	本市が当面している 都市整備問題（河川 改修、港湾整備、パ イパス建設、鹿児島 中央駅周辺の課題） について調査検討を 行い、関係当局への 意見反映をはかる。						
	◎中原ちから うえだ勇作 建設局の所管に属す ○たてやま清隆 三反園輝男 る事項 佐藤高広 上門秀彦 上田ゆういち 平山 哲 堀 純則 秋広正健	◎仮屋秀一 崎元ひろのり ○中原ちから 大森 忍 徳利こうじ 川越桂路 米山たいすけ 古江尚子 しらが郁代 幾村清徳 たてやま清隆 平山たかし 奥山よしじろう	地方創生に係る本市 の「人口ビジョン」 及び「総合戦略」の 進捗状況等について 調査検討を行い、関 係当局への意見反 映をはかる。						
	産業観光企業	10人	10人	◎しらが郁代 大森 忍 産業局、観光交流局、 ○徳利こうじ 山口たけし 農業委員会、市立病 中元かつあき 幾村清徳 院、交通局、水道局 瀬戸山つよし ふじた太一 及び船舶局の所管に 長浜昌三 平山たかし 属する事項	地方創生に関する調査	13人	13人	◎仮屋秀一 崎元ひろのり ○中原ちから 大森 忍 徳利こうじ 川越桂路 米山たいすけ 古江尚子 しらが郁代 幾村清徳 たてやま清隆 平山たかし 奥山よしじろう	地方創生に係る本市 の「人口ビジョン」 及び「総合戦略」の 進捗状況等について 調査検討を行い、関 係当局への意見反 映をはかる。
◎霜出佳寿 川越桂路 環境局及び教育委員 ○米山たいすけ 田中良一 会の所管に属する事 園山えり 志摩れい子 項 わきた高德 森山きよみ 崎元ひろのり 大園盛仁									

